



学校だより

平成27年11月12日 No. 22

こたき

教育目標

- か 考える子ども
- が がんばる子ども
- や やさしい子ども
- け 元気な子ども

☎ 92-4013
FAX 92-4019

いわき市立小名浜西小学校長 高木清美

「つなぐ教育」教育講演会から



「子どもが伸びる、学力向上のための親の姿勢、関わり」をテーマにベネッセコーポレーションの岡田行弘氏を講師に招き、小名浜一中学区5校の主催により教育講演会が開かれました。聴講に集まった保護者の方々は、豊富な調査データから見えてきた、子育てのヒントに耳を傾けていました。講演の内容の一部を紹介します。



今どきの子どもたち

- ① 自分はダメな人間だと思う子の増加
- ② もっと勉強したいと思う子の減少
- ③ 携帯電話・スマホで友だちと連絡
- ④ 苦労せずに大学へいける(大学浪人の減少)
- ⑤ 他国と比べ、学力は高いが意欲は低い

↓
グローバル化社会を主体的に生きていけるか？

子育てのゴールは、「自立」と「自律」

親は、我が子の独り立ちを目標に関わることが大事。子どもに生活をコントロールする力が身に付いているかどうかを考えて関わりを持つようにする。

次のしつけを受けた人は年収が高い(社会的信頼も高い)

- ① 嘘をつかないこと
- ② 人に親切にすること
- ③ ルールを守ること



子育ての悩みは、子の年齢とともに変化するが、「整理整頓・片付け」「生活リズム」「家庭学習の習慣」などは、子の年齢が上がっても減らない悩みとしてあげられている。

学習成績がよい子の生活習慣

- ① もちろん学習時間が長い
- ② それは、夕飯の前や早朝などすき間時間を見つけて勉強ができるから
- ③ テレビ・ゲーム・スマホ・PCをしている時間が短い

↓
自分の生活時間をコントロールできる子に育っている



学習成績がよい子の学習習慣

- ① 計画を立てて勉強している
- ② でき具合を確かめながら勉強している
- ③ 他の解き方はないかさらに考える
- ④ 間違った問題をやり直す

今、保護者ができること

- ① 家庭生活の基本条件を整備する
- ② 子どもに対する高い関心を示す
 - ・今勉強していることを聞く
 - ・興味のあること一緒にやる など
- ③ ポジティブな関わりを多くする
 - ・ほめる、相談にのる、大人として扱う
- ④ 子どもの成長によって、関わり方を変える
 - ・手をかける程度を考える
 - ・答えは教えない、ヒントを教える
- ⑤ 「子どもは親の姿を見て育つ」を自覚する
 - ・親が変われば、子も変わる
 - ・口だけでは、子は変わらない



講師の岡田氏

成績アップにつながる親の関わり

- ① 図や表を使って考えさせる
- ② たくさん問題を解かせる
- ③ 身近なことと関連させて考えさせる
- ④ 問題を解く面白さを伝える
- ⑤ 社会や歴史のできごとを伝える
- ⑥ 夢や希望について話を聞く

成績アップにはつながらない親の関わり

- ① 勉強するように言う
- ② 授業をしっかり聞くように言う
- ③ 子どもが解いた問題の○付けをする
- ④ 分からないところを教える(どう教えるかが鍵)

学習発表会にたくさんのご感想ありがとうございました

前号での「ご感想をお寄せください」とのお願いに、たくさんの方から貴重なご感想・ご意見をいただきました。改めて、保護者の皆様の子どもたちの成長に寄せる期待の大きさを知ることができました。ありがとうございました。